

高等学校の学習指導要領の改訂に併せて、民間有志による研究会「高大連携歴史教育研究会」は、去る10月30日、「高等学校教科書および大学入試における歴史系用語精選の提案（第一次）」（以下「用語精選案（第一次）」という。）を公表しました。

この「用語精選案（第一次）」の作成と日本学術会議との関係につき、お問い合わせがありましたので、説明します。

この「用語精選案（第一次）」は「高大連携歴史教育研究会」が独自に作成したものであり、日本学術会議は作成に関与していません。今後、「高大連携歴史教育研究会」が作成する予定の「用語精選案（最終版）」にも、日本学術会議が関与することはありません。

また、「高大連携歴史教育研究会」が行っている「高等学校歴史教科書・大学入試出題用語精選基準に関するアンケート調査のお願い」には、日本学術会議も名を連ねています。これは、関係者の意向の分布等を確認することにより、高校の学習や大学入試に必要と考える用語数の量的な水準に係る、今後の日本学術会議における議論の参考になると考えたからです。日本学術会議としては、「用語精選案（第一次）」を支援・推奨する意図はありません。